

事業名：認可外保育施設運営費補助金

保育課 保育係

政策	03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実								
施策	03 子育て環境の充実								
基本事業	02 未就学期児童への支援								
開始年度	平成 8年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

認可外保育施設

手段（事務事業の内容、やり方）

設置から1年以上経過し、定員が10人以上で、保育面積等が江別市認可外保育施設運営費補助金の対象となる認可外保育所の牛乳代、低年齢児保育に係る事業費、保育従事者の健康診断料に対してその一部を補助する。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

待機児童解消を補完する認可外保育所の安定した運営を図る。

指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	認可外保育施設	施設	7	5	5	4
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	1,239	1,002	1,022	2,318
活動指標2	補助対象施設数	施設	4	2	3	3
成果指標1	入所児童数（延べ数）	人	486	416	377	500
成果指標2	3歳未満児入所児童数（延べ数）	人	297	235	181	—
事業費(A)		千円	1,239	1,002	1,022	2,318
正職員人件費(B)		千円	803	802	781	782
総事業費(A+B)		千円	2,042	1,804	1,803	3,100

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	待機児童解消を補完する認可外保育所の安定した運営を図るため、その運営費の一部を補助する。	負担金・補助及び交付金 1,022千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
事業を取り巻く環境変化	
認可外保育施設における乳幼児の事故が社会問題化していることへの対応や、都市化の進行など児童を取り巻く環境が大きく変化し、認可外保育施設に入所している児童に対して健やかな成長のための対応が求められている。	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）

(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

妥当である	理由 根拠	安心して子育てができる体制の整備にあたり、保育所の待機児童の解消は喫緊の課題であり、認可保育所の補助的な機能として認可外保育施設は重要な役割を担っており、安心して保育サービスの提供を受けれるよう、その運営に対し支援することは妥当である。
妥当性が低い		

(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい	理由 根拠	認可外保育施設は、保育所待機児童の解消の役割を担っており、認可保育所の補完的な役目にある認可外保育所の安定かつ安心できる運営を図ることにより、安心して子育てができる体制の整備に繋がる。
貢献度ふつう		
貢献度小さい		
基礎的事務事業		

(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

上がっている	理由 根拠	入所者は減少傾向にあるが、認可保育園の待機児童にとっては、認可外保育施設を利用することにより、安心して仕事に取り組めるなど、多様化する保育ニーズある程度応えることができることから成果が上がっている。
どちらかといえば上がっている		
上がらない		

(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大	理由 根拠	補助金交付については、認可外保育所が健全かつ適正な保育事業の運営と保育サービスを提供するための最小限の経費にとどまっており、民間の自主的な運営を踏まえた補助金対象経費の拡大により、安心して子育てができる体制の更なる整備及び確保が図られる。
成果向上余地 中		
成果向上余地 小・なし		

(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？

ある	理由 根拠	江別市認可外保育施設運営費補助金交付要綱に基づき保育事業を実施するうえで必要最小限の支援事業であり、コスト削減の余地はない。
なし		